

2023 公開シンポジウム

主催：野生動物管理全国協議会  
共催：「野生生物と社会」学会 行政研究部会

# 野生動物管理学教育の 黎明と今後の展開

～次世代の鳥獣保護管理の担い手の確保・育成の実現に向けて～



令和  
5年  
6/29 (木)  
13:30 ~ 16:30

千代田区立内幸町ホール

ハイブリッド開催（現地 & オンライン）

会場定員  
100名

我が国では体系的な野生動物管理学教育を行うためのシステムを欠いていた。そのため、2019年に日本学術会議は「大学や大学院における教育体制の整備・拡充」を提言した。この提言を受け、農林水産省と環境省は「野生動物管理教育プログラム検討会」を立ち上げて理想的なカリキュラムを策定し、2022年度には6大学の協力体制のもと、同カリキュラムの運用に向けての試行が行われた。さらに時を同じく、閣議決定された「生物多様性国家戦略 2023-2030」では、「次世代の鳥獣保護管理の担い手の確保・育成」を掲げ、その数値目標も提示された。すなわち、日本の野生動物管理学教育は、今まさに黎明期を迎えようとしている。

そこで本シンポジウムは、体系的かつ実践的な野生動物管理学教育の運用や体制に関わる諸情報の共有ならびに「生物多様性国家戦略 2023-2030」に謳われた「次世代の鳥獣保護管理の担い手の確保・育成」の実現を目指すロードマップの議論を目的に企画した。

13:30 ~ 13:40 開催挨拶・趣旨説明

梶 光一（東京農工大学 名誉教授）

13:40 ~ 14:10 農林水産省・環境省による「野生動物管理教育プログラム検討会」の成果

鈴木 正嗣（岐阜大学 応用生物科学部 教授）

プログラム  
14:10 ~ 14:40 大学間連携による野生動物管理教育プログラム

宇野 裕之（東京農工大学 農学部附属 野生動物管理教育研究センター センター長）

14:40 ~ 15:00 野生動物がもたらす人獣共通感染症リスク

亘 悠哉（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 野生動物研究領域 主任研究員）

15:10 ~ 16:20 総合討論：次世代の鳥獣保護管理の担い手の確保・育成

司会：梶 光一

パネリスト：鈴木 正嗣・宇野 裕之・亘 悠哉

コメンテーター：環境省 鳥獣保護管理室 室長 東岡 礼治  
農林水産省 鳥獣対策室 室長 阿部 尚人

16:20 ~ 16:30 閉会挨拶

申込みは  
こちら



申込〆切：令和5年6月22日

● 申込み方法：下記 URL もしくは右上の QR コードへ アクセスし、フォームを送信してください。

<https://forms.office.com/r/UztHvaqsqc>

● 問い合わせ先：野生動物管理全国協議会 事務局（株式会社一成 担当：大山）Tel：079-428-0682 Fax：079-428-2427

個人情報、申込者への返信、参加者名簿の作成、お問い合わせに対する回答や確認等、本シンポジウムを実施するために必要な場合に限り利用します。